

# 最初の石を投げる

アッシャー・イントレーター

Asher Intrater - Throwing the First Stone

Aglow 2019 Jerusalem Convocation — Monday Evening Session

この終わりの時代、イスラエルが国として回復されてきただけでなく、信仰のレムナント—イスラエルにイエシュアのビリーバーがいます。これは奇跡です。数こそ少ないですが、ビリーバーの私たちがこの地にいることは神からのしるしです。それは神が真実であるが故です。神はご自身の契約に忠実なのです。何千年も前に、神はご自身の民に対し真実であることを約束しました。私たちユダヤ人がどれだけ不忠実だったとしても、神は忠実であり続けたのです。

ジェーンが言ったように、私たちの関係は特別だと信じます。聖書はこれをオリーブの木と呼んでいます。互いに接ぎ木された別々の枝です。そこには約束があるのです。こうした枝が接ぎ木されると、すべての国がイスラエルのメシアニックのレムナントとつながります。すると何か大きなことが起こるのです。神は言われました。1世紀よりも大きなことになるだろうと。どうでしょう？

最近、多くの人たちが私たちが批判して言います。「1世紀より大きなことが起こると、なぜいうことができるのですか？」私はわかりません。聖書がそう言っているのです。私がおそのことをでっち上げたわけではありません。でも聞いてください。1世紀には、中国にも、アフリカにも、アメリカにもヨーロッパにもビリーバーはいませんでした。何かがやってこようとしているのです。

1世紀はメシアが栄光を帯びてやってくる時代を目の前にしてはいませんでした。メシアがこの地にご自身の御国を建てる時代が目前ではなかったのです。今は何かが違います。メシアは言いました。私たちが集まると、死人がよみがえる道が備えられると。

あなた方と私たちの関係には何かがあるのです。あなた方と私たちの関係によって、死人がよみがえり、メシアの王国がこの地にやってくる、そういう事態を世界に備えさせるのです。

🔑 **今日のメシアニックビリーバーとアグローの関係はイエシュアの再臨を促すのに不可欠です。**

ちょっとした考えをここで分かち合います。

神が愛で、その神のゆえにすべての国に互いに愛し合う人がいなければならない、ということだったらどうでしょう。その証拠がどこかになくはならなかったとしたら。そうであればアグローがいます。アグローは170か国にあり、イスラエルには私たちがいます。私たちは互いに愛し合っています。神は唯一のお方であって、神は愛です。これがすべてです。それが証明されようとしています。

🔑 **アグローと今日のメシアニックビリーバーの関係は神の愛と一致に対する証人となっています。**

**Throwing the First Stone 最初の石を投げる**

モーセのトラとヨハネの福音書の両方に「初めの石を投げる」というフレーズが書かれていることは興味深いことです。このフレーズはユダヤの世界でもクリスチアンの世界でもよく知られていることばです。その間にはつながりがあるのですが、それを知らない可能性があります。

両者のつながりについて話しましょう。申命記にある義の律法とイエシュアが姦淫で捕らえられた女性をどのように扱ったかを比較します。

最初の引用句は申命記 16 章からです。これは、シナゴグで読まれている先週のトラの部分です。実際、政党のリーダーの一人アヤレット・シェイクという女性が選挙の公約として引き合いに出しました。驚きですね。

**申命記 16:18** あなたの神、主があなたに与えようとしておられるあなたのすべての町囲みのうちに、あなたの部族ごとに、さばきつかさと、司たちを任命しなければならない。彼らは正しい裁きをもって民を裁かなければならない。

最初に見るべきは、義の裁きが神の計画の一部であったということです。ただ霊的な哲学があるだけではないのです。それは、道徳的価値や社会的正義までに落とされなければなりません。私たちが信じていることの一部となっているのです。私たちは正しい裁きをもたらさなければなりません。

**申命記 16:19** あなたがたは裁きを曲げてはならない。人をかたよってみてはならない。わいろを取ってはならない。わいろは知恵のある者の目をくらませ、正しい人の言い分をゆがめるからである。

申命記 17：1-7には、もし誰かが罪を犯したら、姦淫や性的不道徳の忌み嫌うべきことのどちらにせよ、その人は石打ちに合わなければならないとあります。その証人となる人がまず初めに石を投げます。だからイエシュアが申命記を引用したときはトラと申命記とレビ記の記述となります。

## A Judicial System 司法制度

申命記 16：18には、ヘブル語で警察と同じ言葉である「裁く人」と役人を指名する必要があると書かれています。ですから、基本的に、私たちは司法制度のために置かれている人なのです。あなたがどの国に住んでいようと、あなたの国の司法制度のために祈る必要があります。国の正義を保つという神の計画の一部を担っている警察のために祈る必要があります。

🔑 **司法制度はこの地の義を保つための神の計画です。司法制度にかかわるすべての人のために祈りましょう。**

現代は石打ちの刑について心配する必要はありません。犯罪は罰せられなければなりません。犯罪者はそのまま自由になることはできません。そこには裁判所があり警察があり、犯罪者は罰せられます。

また、ここは、私たち自身が義を追い求めていかなければならないことも語っています。もし私たちが受動的であるなら、義は達成されません。義は自然とやってくるわけではありません。義は追い求められるべきものです。イスラエルの身の毛もよだつ性産業では、私たちは何もできません。何かしなくてはなりません。義を追い求めなければなりません。ちょっとだけ追い求めたとしても、神は大きな方法でそれを祝福してくださるのです。神は私たちの努力を倍増なさるお方です。私たちは何かをしなければならないのです。

🔑 **私たちが率先して義を追い求めるのであれば、神は私たちの努力を倍増してください。**

申命記 16：19ではわいろを禁止しています。興味深いことです。トラで禁止しているのです。金銭的な汚職は問題なのです。

🔑 **わいろを受け取ると、正義に対して、歪み、偏見、歪曲をその人の知恵に許してしまうこととなります。**

イスラエルでは、この真理を信じている、と口では言うものの、宗教的な人たちが問題を抱えています。彼らは道徳的な価値を大切にしていると言いながら、汚職に染まっています。宗教界で金銭的な汚職が横行し

ています。汚職は目をふさいでしまいます。自分たちは正しいと思っていますが、実際はそうではありません。

申命記 17 : 4 では、それぞれの場合で調査しなければならないとしています。一般化することはできません。それにはプロセスをおっていく必要があるのです。

🔑 **義と正義の場所から治めることによって有罪か無罪かを証明するプロセスを踏むことができます。**

義はプロセスです。あなたはその過程を歩まなければならないのです。その過程の終わりはあなたにはわかりません。あなたは、誰かを有罪と推定することもできないし、過程を踏む前にその人が無罪であると推定することもできません。正義の中には、そのプロセスを歩み通すということも入っているのです。

私は、ダン・ジャスターの著書 *Due Process* (当然通るべき過程) という本が好きです。義は結果だけではなく、あなたが通る過程が結果をもたらすというのです。あなたには過程があるので、前もって考える概念を抱くことができないのです。

🔑 **国は義によって土地を所有することができます。**

そして最後に、申命記 16 : 20 では、義の社会が人々にその地を所有させることができる、と書いてあります。この土地を所有するには、もっと宗教的になるとか、もっと軍隊を持つとか、政治が良くなるとか、もっとお金があるとかいうのではありません。この土地には義が必要なのです。義によって土地を所有することができるのです。シオニズムはまず初めにここに注目しなければならないのです。

### Israel and the Nations' Current Condition 現在のイスラエルと国々の状況

イスラエルはほかの国々と同じような国ではありません。神は、他の国を必要としていないのです。イスラエルは信仰の一部としての義と道徳的価値、社会正義の上にたてられていることになっています。それは、あなたの国も同じでしょう。

170 か国で私たちの信仰の一部として道徳的義と社会正義のために皆が祈ったらどうでしょうか？ 私たちは信仰の人です。正しい心を持ち、私たちが生きている社会を変革する必要があると信じているのです。私は政治の話をしていません。

イスラエルは難しい問題を抱えています。たくさん問題です。イスラエルはイスラム諸国 49 か国の内の 22 か国のアラブ諸国に囲まれています。イスラエルだけが 49 のイスラム諸国の真ん中に生きているのです。私たちは反アラブではありません。私たちはアラブと一つの家族なのです。

今イスラエルには衝突が生じています。だから、今政府を形作る方法がないのです。宗教的な人々と世俗の人々との間の衝突です。あなたの国のクリスチャンのコミュニティについて言っているではありません。私が話しているのは、イスラエルの超正統派のコミュニティについて話をしています。

性的不道徳に陥っていく世俗の社会問題をイスラエルは抱えています。小学 5, 6 年生にたいして売春をさせるような驚くべきことがなされています。売春や離婚、性産業、中絶は本当にひどい状態です。イスラエルでは女性たちボロボロになっています。とても悪いので、男性にも影響を与えています。性産業の乱用は今や男性に及び、ホモセクシュアルの悪習へと追いやっています。とても深いのです。イスラエルはあまりにも混乱していて、何が正しくて、何が正しくないかわからない状態になっています。

一方、正しい言葉を言って自分たちが正しいと主張する宗教的な人たちがいます。驚きです。彼らは、私たちが言うようなことをたくさん言います。ところが、そのコミュニティは政府からお金を盗んでいます。子どもたちを軍隊に送ることはせず、世俗の人たちが自分の子供たちの代わりに軍隊に行くことを期待しています。他人を軍隊にやって殺していることと同じです。

もしあなたが、あなたの代わりにほかの人を死の場所に送るとするなら、もしあなたがお金を盗んでいるなら、もしあなたが殺人を犯しているなら、聖書に書いてある真理について嘘を言っているなら、あなたは何をしているのでしょうか？このように世俗にも宗教にも不義が横行しているのです。イスラエルでは人々が混乱しています。私たちはその真ん中に生きています。今、このメッセージを皆さんが聞く必要があるのです。イスラエルの社会について、失われているイスラエルの個々の人々について今話しています。この迷路からどのように抜けたらよいかわからないのです。

また、皆さんのコミュニティについても話しています。あなたの個人的なことについて話しています。私の個人的なことについて話しています。これに対する答えは何でしょうか。私たちは今身動きできない場所にいます。答えがないのです。どうしたらよいかわかりません。

イスラエルではちょうど選挙がありました。政権を組閣できなかったので、もう一度選挙をしなければなりません。結果は同じでしょう。イスラエルは今身動きが取れません。どうしたらよいかわからないのです。

でも、答えはあります。その答えというのは「ひと」です。

**Are We Really Looking for Justice? 私たちは本当に正義を求めているのでしょうか？**

ヨハネ 8 章を見ましょう。

私が言いたいのはこれです。姦淫の罪で捕らえられた女性に対してイエシュアがしている話です。これは、ある意味、現在世界で起こっていることすべてをまとめて表していると言っていていいでしょう。どういうことかわかりますか？

信じる者としてこのメッセージをどのように受け取ったらいいのでしょうか？テレビや娯楽がみんな姦淫に関する中で、私たちは人々にどのように話したらいいのでしょうか？「姦淫で捕らえられた女性」は何を意味するのでしょうか？ここの 90%は西洋の考え方でしょう。私たちはどのようなメッセージを持っているのでしょうか？オーケー！それは間違いです。でも私たちの彼らに対するメッセージは何でしょうか。それに対する解決は何でしょうか。

イエシュアはそれに対して何と答えたでしょうか。このような段階でこのことについて考えることは驚くべきことです。

**ヨハネ 8:3-6** *すると、律法学者とパリサイ人が姦淫の場で捕らえられた一人の女を連れてきて、真ん中においてから、イエスに言った。「先生この女は姦淫の現場で捕まえられたのです。モーセは律法の中で、こういう女を石打にするように命じています。ところで、あなたは何と言われますか。」彼らはイエスを試してこう言ったのである。それは、イエスを告発する理由を得るためであった。しかし、イエスは身をかがめて、指で地面に書いておられた。*

あなたはこの状況がわかるのでしょうか？人々がやってきて、当時の宗教的な指導者たちが言いました。「イエシュア、私たちはこの女を連れてきました。」この女は明らかに悔い改めている様子で、跪いていました。彼女は泣いていました。彼らは言いました。「この女は姦淫の現場で捕らえられたのです。トラによれば、彼女は石打の刑です。」これはイエシュアにとって罠でした。なぜなら、もし、イエシュアが、彼女の間違いを指摘し石打にするように言えば、イエシュアは憐みに欠けるということになります。もし、イエシュアが石打にしなくてもよい、と言えば、トラに従って生きていないということになります。このようにイエシュアは罠にかけられたのです。

私たちも同じように感じています。私たちも宗教的な人たちに賛成するのでしょうか？この質問にあなたならどのように答えますか。

あなたは、自分で姦淫を犯したと言っている女性を捕らえることができますか？何かしっくりこないことがこの話の中にあるのです。だから、私たちは質問しているのです。ここにいた人たちは本当に正義を求めているのでしょうか？それとも、自分たちの宗教的なイメージを満たすことを狙いとしていたのでしょうか。考えてみてください。

🔑 **私たちは真理に結びつこうとしているのでしょうか。それとも私たちが持っていると思っている宗教的イメージを描いているのでしょうか。**

だから、私は現代の社会について話しているのです。現在、起こっていることです。現代に生きる私たちは正義を本当に求めているのでしょうか。それとも、ただ誰かのせいにしてしているのでしょうか、

もし、あなたがトラに立ち返るなら、あなたは姦淫を犯した男と女を石打の刑に処するでしょう。そこで主な責任を負うのは男です。有罪の中心は男であり、その人がまず初めに石を投げられるのです。ところが、そこにいた群衆は男性の方は連れてこないで、女性だけを連れてきました。男はどこに行ったのでしょうか？その人は群衆の中にまぎれたのでしょうか？もしかしたらそうかもしれません。私にはわかりません。

これに似た状況に私たちは陥っています。私たちはイスラエルの地で信じる者としてこのところに座っているのです。そして、正統派のユダヤ人が世俗の人たちにこう言っているのを聞いています。「あなたは罪の中にいる。それは忌むべきものだ。」私たちは言います。「そうですね。でもあなたはそれに対して答えを提供していません。この状況に対する解決は何でしょうか？」私たちはどのように人々を扱っているのでしょうか？宗教的な友人にどのように話しているのでしょうか？どのように、私たちは世俗の友人に話しているのでしょうか？イスラエルではこれは現実問題なのです。

*ヨハネ 8:6-9 「彼らはイエスを試してこう言ったのである。それは、イエスを告発する理由を得るためであった。しかし、イエスは身をかがめて、指で地面に書いておられた。けれども、かれらが問い続けてやめなかったので、イエスは身を起こして言われた。「あなたがたのうちで罪のない者が、最初に石を投げなさい。」そしてイエスは、もう一度身をかがめて、地面に書かれた。*

ここでイエスは何かを加えました。トラには「最初の人石を投げる」と書かれています。しかし、イエスはこれに何かを足したのです。「罪のないものが」を。

### **Pursue Righteousness 義を追い求める**

実際は、トラはこのように言っているのです。なぜならモーセは「義を追い求めよ」と言っているからです。石を投げる対象を見つけるのではなく、義を求めることについてなのです。

宗教的な人にも、世俗的な人にも、私たちにもあなたにも私にも、次の質問をしなければなりません。「誰を非難すべきか」ではなく「私たちは義なるものか？」と。まず、自分の心をチェックしてください。他の物、他の人を非難するものではありません。義であるかどうかの問題なのです。私自身についてのことなのです。あなたが世俗的だからといって、あるいは、宗教的であるからといって、あなたが義であるということではありません。イスラエルはこの穴にはまってしまっているのです。

先ほど言ったように、世俗では「自由」と「愛」は大きな意味を持つ言葉です。私たちは愛がほしいし、自由も欲しい。でも、もし、私たちが義の価値観を無視して、愛と自由に最初に重きを置いたら、性的不道徳と等しくなってしまう。世俗ではそれがすべてです。

🔑 **義の価値観を無視した愛と自由は性的不道徳の扉を開けてしまいます。**

一方、宗教的な人たち、私たちもそうですが、皆、義を求めています。私たちがしていることといえば皆を非難することです。私たちも正しいことをしていないので偽善者となっています。私たちは目覚める必要があります。私たちは宗教的な友人たちに対してこう言います。もし、あなたの心に義があるなら、世俗的な

人を非難しないで、正しいとか間違っているとか言わないで。あなたがメズザ（ユダヤ人が門柱に張り付けている申命記からの引用）に口づけし、肉と乳を別にしているからといってあなたが義なる人、というわけではありません。

🔑 **振る舞いや外見によって義を達成することはできません。義は御霊の内なる働きによります。**

イエシュアは会衆の真ん中にひざまずいて地面に何かを書いていました。そこにいたすべての人に対してそうしていたのです。

ヨハネ 8:10-11 *そしてイエスは、もう一度身をかがめて、地面に書かれた。彼らはそれを聞くと、年長者たちから始めて、一人一人出ていき、イエスが一人残された。女はそのままそこにいた。イエスは身を起こして、その女に言われた。「婦人よ。あの人は今どこにいますか。あなたを罪に定めるものはなかったのですか。」彼女は言った。「誰もいません。」そこで、イエスは言われた。「私もあなたを罪に定めない。行きなさい。今からは決して罪を犯してはなりません。」*

なんと美しいのでしょうか！驚くべきことを言われました。私たちは人々を見て、次のように言うことができます。「私たちはあなたを愛しています。もし、あなたが何か間違ったことをしてしまったら、それをやめなさい。私たちはあなたを愛しているのだから。」これは非難するかどうかではありません。これは、その人を愛するかどうかです。

もし、誰かが煙草を吸っていたら、それをやめるように言うでしょう。肺がんになってほしくないから。もし、誰かが麻薬をやっていたら、それをやめるように言うでしょう。その人の精神が壊れてしまうから。そして、もし、女性たちが何かをやらされている、あるいは、やりたいと思わされているのであれば、自分たちのからだを壊しているわけです。そしたら私たちは次のように言います。「私たちはあなたを愛しています。それはやめなさい。そんなことをしてはいけません！」と。

イエスは、言われました。「私は世の光です。私に従う者は、決して闇の中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」

🔑 **いのちのひかりがあなたの内に住んでいるなら、暗闇の中も歩くことができます。**

### A Change of Heart 心を変える

皆さんに言いたいのです。政治的に右派か左派かは関係ありません。宗教的であるか世俗的であるかも関係ありません。私たちは心を変えなければならぬのです。そして、イエシュア以外に私たちの心を変えることのできる人はいません。イエシュアは世の光です。もし、イエシュアがあなたの心に住んでおられないならそこは暗闇です。それは宗教的な暗闇かもしれないし、世俗的な暗闇かもしれません。他人に対する非難かもしれません。自分に対する非難かもしれません。

神が言われていることを見てください。さあ聞きましょう。今はほかのことを考えてはなりません。あなたのことを考えましょう。悟りましょう。

あなたは性的な罪とかかわったことがありますか？すべてが肉体的なものとは限りません。性的罪の中にはビデオやポルノを見ることも含まれます。それらにかかわったことがありますか？イエスは言っています。「私はあなたを非難しません。それはあなたを傷つけるのです。もうそれをしてはなりません。さあ、そこから出てきなさい。非難されたとは思わないように。そこにはまっぴいけません。」

これは多くの人たちがやっていることで、性産業に女性たちが入ってしまうものです。「私にいいところは全くない。私はただのごみにすぎない。あそこにまた戻ればいい。」というループにはまってしまうのです。イエスは言います。「違う、違う！それはあなたではない！あなたは私の息子だ。娘だ！あなたがそこから出られるように私に手助けさせておくれ。あなたにいのちを与えさせてくれ。光があなたの人生にさすよう

に。ここからあなたを抜け出させたい。あなたはただのごみなんかではない。あなた自身をあなたが非難してはならない。ほかの人にもあなたを非難させてはならない。私がここにいるのはあなたを非難するためではない。神はあなたを非難するためにここにいるのではない!」

🔑 **罪の罠にかかった人々を非難するために私たちはここにいるのではありません。彼らを愛し、イエスといのちを彼らに示すために私たちはここにいるのです。**

私たちは非難するためにここにいるのではなく、彼らを助け、希望を与えるためにここにいるのです。あなたは罪を犯している、と人々に告げるだけで、そこから抜け出る道を示さなければ何もいいことはありません。

大切なことは、イエシュアは罪を責めていない、イエシュアは非難しない、ということです。罪を赦すことは「そうか、わかったそのまま続けて。そうするしかないのだから。」というのではないのです。イエスはそのようには言っていません。イエスが言っているのは、「わたしはあなたを非難しない。そして、あなたを容赦しない。わたしはあなたを愛している。私はあなたを助け、そこから抜け出るようにしたい。そこから抜け出る道があるから。わたしはあなたを助けることができる。」

だからこそ、あなたも私の娘のような人たちも、手を伸ばして言うのです。「さあ、あなたがここから抜け出る手伝いをしたいのだけど。私たちはあなたを非難しません。あなたに抜け出る道を与えたいのです。なぜなら、あなたを愛しているから。」私たちの声にも心にも一滴も非難の雫はありません。その代わり「あなたの人生やあなたの周りを破壊することはやめましょう。もうそれはしないでください。さあ、あなたにとっての解決方法を私たちはもっています。」

罪の罠にはまった人にたいして答えを持たなければなりません。ただ、それをやめなさい、と言ったところで彼らは罪から抜け出ることができません。イエシュアは言います。「わたしは光を持っています。力を持っています。義を持っています。聖霊を持っています。この状況から抜け出るポジティブなエネルギーを与える方法を持っています。」

それから、イエシュアは宗教的な人たちに言いました。「あなたがたは、いつも人々を非難しています。なぜですか？なぜ石を投げたがるのですか？」そうですね。私たちは石を投げるという行為はしたくないと思っています。イエシュアは言いました。「いつもあなたは人々を非難しているのですか？良くないと言って非難しているのですか？」これをしているのは、こうした宗教的指導者たちだけでしょうか？

### **The Little Guy with the Stone 石を手にした小さな人**

いいえ。私たちは皆、石を手にした小さな人を持っているのです。周りを見て他人を指ささないでください。あなた自身、そのような傾向に気づいたことはありませんか？この小さな人は私の中だけにいるわけではないでしょう？みんなの中にいます。その小さな人は周りの人を見て言います。「彼が良くない。全くよくない。それから、あの人も悪い。私はほかの誰よりも良い。私は義なるものだ。ほかの誰もが間違っている。」

これが信仰だと思いませんか？これはただつぶやいているだけです。これはただの非難です。みなさん、これを取り除いてください。今、あなた自身の人生から！

夫婦は互いに対抗してしまいます。自分以外の誰かの間違いは見えやすいのです。キリストを信じる者として、気を付けなければならないことがあります。私は成熟しているから他の人よりも良い、と考えてしまう。聖書の言葉をよく知っている。長い間主と共に歩んできた。そう思って、知らないうちに他人を非難してしまっています。イエスは言われます。「本当？あなたはどうか？」

## Drop the Stones 石を捨てなさい

他人の間違ひを見る前に、自分に問う必要があります。「私の何が変わる必要があるだろうか？」すると、石を捨てなければならない、ということに気づきます。皆さん、石を捨ててください。石を捨てて言うのです。「私たちは、個人的に義なるものにならなければならない。ここから離れてはなりません。」

ここで最後のポイントを話したいと思います。これをアグローに話したいのです。まとめとしてお話しします。

## The Gospel of Righteousness 義の福音

☞ 義の福音は男性にも女性にも同じく与えられています。

私たちは、女性だけを非難して、男性は自由に行かせる、ということはありません。私たちは人々を非難しません。私たちは愛するのです。人々に恵みを与えます。しかし、罪は容赦しません。罪を犯してもいい、とは言いません。罪は間違いだ、と言います。

☞ 義の福音は、自己義ではありません。

自己義は、性的不道徳と同じくらい罪深いものです。自己義をやめなければなりません。私たちは罪をおおめに見たりはしません。しかし、人々を非難しません。私たちは自己義の中を歩むことはありません。

今、私たちは個人的に変わる必要があります。この変化はイエシュアを通してのみ可能です。そうすると恵みと裁きのバランスが取れた場所を歩むことができます。完全な義の場所を歩むことができます。イエシュアだけが唯一の解決です。イエシュアだけが光です。

あなたの人生、あなたの国、私の国で言いたいことはこのことです。ここから抜け出るのは一つの道しかありません。政治的、宗教的な解決はありません。世界はこの問題にぶち当たっています。香港で起こっていることを見てください。イランで起こっていること、ヨーロッパで、アメリカ、イギリスで起こっていることを見てください。世界、どこにおいても言えることです。

片側には獣、もう片側には遊女がいるのです。片側には殺人を欲する暴力、もう片側には性的な倒錯があるのです。私たちが持つべきは、イエシュアを通じた愛と光と純粋です。

☞ 世界を覆っている危機に対する解決はイエシュアによって心を変えられることです。

このために、あなたと私たちの国のために祈りたいと思います。私たちの国はとても熱心です。しかし互いにぶつかり合っています。そして、私たちの国の人々に対しての答えは、他の国の人々に対しての答えと同じなのですが、イエシュアが言っていることなのです。「わたしは光です。ここから出る道です。宗教的な非難から性的な倒錯から抜け出る道です。社会の汚職から抜け出る道です。あなたの心は変えられなくてはなりません。」

人々の心が腐敗している限りどのような政治制度もうまくはいきません。それとは反対に、人々の心が正しいのであれば、どのような政治制度もうまくいくのです。どのような状況においても、ビジネスでも、宗教的な集まりでも、もし、人々の心が正しいのであれば、うまくいくのです。人の心を変えることのできる方は一人しかいません。それはイエシュアです。

あなたのために祈りたいと思います。今、心を開きましょう。

天のお父様、イスラエルで選挙が行われる直前の週に、この瞬間に、私たちは立っています。イスラエルのメシアニックと世界中から集まったクリスチャンの関係のなかで、エルサレムのこの場所で、アグローインターナショナルのコンボケーションが開かれている中立って、あなたに私たちは赦しを求めます。天のお父

様、あなたの光がこの国に来ますように。ここに集まっているすべての国々に、すべての人に来ますように。私に、みんなに。

主よ。このメッセージが、イエシュアの完全なメッセージとなりますように。あの時、イエシュアはあの女性に話しました。しかし、今も、あなたはあの時と同じように、最後の世代の 70 億人にも語り掛けてくださっています。非難ではなく、性的な罪でもない。それは純粹と義の光について語っておられます。

お父様、私たち一人一人の心のために祈ります。もしかしたらこれは認めたくはないかもしれませんが、ポルノの問題や性的不道徳のような問題を持っている人がいます。性的倒錯の問題を持っている人がいます。その人のために今祈ります。イエシュアは言いました。「わたしはあなたを責めない。立ち上がりなさい。それをやめなさい。もう二度とそれをしてはならない。そこから出ていきなさい。あなたのコンピューターからそれを削除しなさい。そこから出てきなさい。わたしはあなたを非難しない。さあ！」

また、私たちの周りの国々のために祈ります。メディアのために祈ります。小学校で何が起きているか。私たちの周りの人々は性的不道徳に陥っています。神様、この人たちに解決がもたらされるようとりなします。ここで助けることのできる方はただ一人、イエシュアだけです。あなたに求めます。一人一人に答えを与えてくださいますように。彼らの心が変わりますように。

急なことですが、今見えます。イエシュアがこの女性の心を見ておられ、あなたの周りの人々の心を見ておられます。国々のすべての人に目を注いでおられます。子どもたちは罪と非難に陥っています。なぜなら、彼らはポルノを見てきたからです。13, 14 歳でレイプされた若い女性たちは自分を憎んで言います。「わたしは良くない。私はゴミにしかすぎない。」そしてそこに陥ってしまっています。

信じる人たち、牧師たち、主がこのように言うておられます。「イエシュアは、あの女性を見るように牧師たちを見ておられます。あの女性を見るように、イエシュアは 6 年生を見ています。」そして、言われます。「わたしはあなたを非難しない。あなたはわたしのこどもだから。わたしの息子だから。わたしの娘だから。さあ、出ておいで！」

天の父よ。私たちにこの女性だけでなく、私たちが光を表すことのできる私たちの周りの何十億という人々に語り掛ける力をください。そして、私たちは彼らに言います。「私たちはあなたを非難しません。間違ったことをやめるように言うだけです。そこから抜け出る方法はイエシュアです。この方だけがあなたの手を取りあなたを引き上げることができます。私たちは罪の力を砕きます。宗教的な非難を砕きます。」

父よ。ここにいる私たち一人一人のために祈ります。「私はポルノなんて見ない」と言っている人たち。そう、石を捨ててください。この部分について私たち一人一人のために祈ります。宗教的な偽善者の部分です。他の人よりは私の方が良い、と思っている部分です。天のお父様、そこから私たちが抜け出すことができますように。イエス様、あなたは私たちをみて「あなたは罪はないのか。罪がないのであれば、なぜいつもほかの人を批判しているのか？他の人を非難しているのか？」というあなたの声を聞くことができますように。

天のお父様、あなたにお願いします。イエシュア、私たちは今心を開いています。私たちは罪はいりません。非難はいりません。私たちを清めてください。

また、主よ、私たちの周りの社会のためにも祈ります。これはアグローのある 170 か国すべてに言えることだと思います。同様のことに直面しています。それは、片側には獣、もう片側には遊女という状態です。片側に暴力があり、もう片側に性的不道徳があるという状態です。お父様、アグローが光として立つことができますように。すべての国の灯台として立ち上がり、世界に言うのです。「性的不道徳ではありません。暴力ではありません。イエシュアなのです。世の光はイエシュアです！純粹とめぐみ、真理、人々の心を変える力、それは、イエシュアの十字架の死を通して、よみがえりを通して、そして、聖霊の力を通してもたらされます。」

ここにいて一人一人にお願いしたいのです。これから 10 日間、イスラエルの人たちのために祈ってください。失われた人々です。宗教・世俗の人たち両方ともです。彼らは失われた魂であり、混乱しています。イスラエルの人たちのために祈ってください。イスラエルの人たちに感化されないでください。彼らはいのちを必要としています。みな解決主なるお方を知る必要があります。光なるお方のところに来る必要があります。一つしか道はありません。ここにいて私たちはその方を知っているのです。

皆さんはここでツアーに参加します。とても印象的に映るでしょう。もし、あなたがここに住んでいたら、そういったものもばかばかしく思えるでしょう。希望はないかのように見えるでしょう。イスラエルの人たちのために祈ってください。お願いします。どのような祈りでも、皆さんに感謝します。というのも、皆さんはすでに私から学び、他の方々からも学んでいるからです。イスラエルの人と国のために良い祈りを行うことができるからです。

一番の祈りは、イスラエルの人たちが永遠のいのちを知ること、罪の赦しを知ること、唯一の世の光なるお方の光によって内側が変えられること、です。このお方は、今までの生きた人の中で最も偉大な人・ユダヤ人・ラビ・イスラエル人・サブラ（イスラエル生まれのユダヤ人）です。この方はイエシュアです。メシアです。世の光人々の光です。どうか祈ってください。

お父様、今祈ります。主よ、イエシュアの場所に今私たちが立ち、私たちの人々を見、心碎かれて彼らを見て「あなたは罪なきものですか？あなたの心はどこにありますか？」とすることができますように。そして他の人を見て、その人が性的な罪に陥っているのであれば、「あなた何をしていますのですか？そこから抜け出てください。」とすることができますように。

また、父なる神様、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民として私たちが立ち上がることができますように。神の民が立ち上がりますように。

もう一つ祈りがあります。それぞれの国が、そこから来た一人一人がイエシュアの状況にとらえられますように。その場所とは一片側には非難、片側には性的罪という場所。そして、私たちは祈ります。神の民がそこで立ち上がりますように。その非難と性的罪に対して。愛と光と義のイエシュアを表すものとして、私たちは立ち上がります。

天のお父様、イスラエルの人々のために祈ります。世界のエクレスシア—神の教会のために祈ります。イエシュアがイスラエルの王として、教会のかしらとして、世の光として高く掲げられますように。唯一の希望です。イエシュアは言われました。わたしは世の光です、と。それは人々の心に灯ろうそくの光のようです。あなたの哲学が何であっても関係ありません。あなたの宗教が何であっても関係ありません。あなたの心に闇があるなら、イエシュアの光だけがあなたの心に灯りをともし、光をもたらすことができるのです。

父よ。今私たちの心の暗闇に触れ光をともしてください。私たち家族の中の暗闇に触れてください。私たちの周りの人達に触れてください。心の闇に触れてください。宗教的なユダヤ人に触れてください。私たちに触れてください。イエシュア、あなたこそ光です。あなたこそろうそくの灯りです。私たちの心の闇に触れ、光となってください。イエシュア、あなたこそ世の光です。

**ジェーン：ちょうど、今この箇所を開きました。ホセア 14：1-3**

「イスラエルよ。あなたの神、主に立ち返れ。あなたの不義がつかずきのもとであったからだ。あなたがたはことばを用意して、主に立ち返り、そして言え。すべての不義を赦して、良いものを受け入れてください。私たちはくちびるの果実をささげます。アッシリアは私たちを救えません。私たちはもう馬にも乗らず、自分たちの手で作ったものに『私たちの神』とは言いませぬ。みなしごが愛されるのはあなたによってだけです。

この後、神がご自分の心を変えことなく癒して、愛して下さる方であることを語っています。神の怒りが彼らから離れ去ったことを語っています。なんと美しい箇所でしょうか。

今晚、アッシャーはメッセージの中でイスラエルについて語ってくれました。しかし、神は私たち一人一人に語ってくれているのです。

あなたの手に握っている石を見てください。それを上にあげてください。天のお父様、私の握っている石を許してください。裁く心を許してください。私たちはあなたの子ども、あなたを信じる者です。私たちは光です。私たちは御霊に満たされています。今晚、この石を捨てます。新しい自由を与えてください。罪から、裁く心から、また、神様が私たちに用意してくださっている前進を妨げるものすべてから私たちを清めてください。

(翻訳 山本聖美)